

令和5年度事業の評価結果について

みやざき就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議において、構成員から意見を求め、事後評価を行った。

1 宮崎県就職氷河期世代就労支援事業の成果についての意見

- (1) マッチング機会の提供（就職氷河期世代マッチング支援事業）
 - ・ 参加者の満足度は非常に高いので、成果としては高い。
 - ・ 周知は非常に難しい課題であり、アンケート等の分析が重要である。
 - ・ 企業のニーズに沿ったマッチングを行う必要がある。
 - ・ 参加者の満足度などを見ると好評のため、参加者を増やしていくことで、就職数に一定程度繋がると考える。
 - ・ マッチング支援事業について、求める企業のリクエストをいただけたらリストアップしてお示しすることも可能である。
 - ・ イベントは、イオンモール宮崎で土曜日に開催され、飛び込み参加も可能とするなど、より多くの方が参加できるよう配慮があった。さらに、県央以外の方も参加できるようにオンラインでのマッチング会が2回実施された。ただし、結果的に参加者数が伸び悩んでいることから、イベントの周知方法などを再検討する必要があると考えられる。
 - ・ チラシ、ポスター、宮崎市内の回覧板、Google、Yahoo!の検索広告、ディスプレイ広告の反響や効果はどれくらいあったか。実際に参加された方が、どのような方法（経路）からイベントのことを知ったかなどの調査を行い、効果的な方法を探す必要がある。地元メディアに取り上げてもらえるなどのアプローチもよいのではないか。

- (2) 支援対象者の掘り起こし（就職氷河期世代アウトリーチ強化事業）
 - ・ サポステ全体がアウトリーチ事業に取り組み、その中で延岡・都城に支援員を配置し、各種コミュニティーへの訪問や出張相談などを行うことで、目標達成に貢献したと感じている。
 - ・ 県とサポステとの協力による目標値の進捗状況の共有は、事業のスムーズな進行に寄与すると考えられる。
 - ・ 目標値を上回る反響が得られたが、それは支援をする人によるものなのか、方法なのか、どのような要素がこの結果につながったのかを検証し、イベントの周知など他の支援にも活かす必要がある。

2 ひきこもり支援・相談体制強化事業の成果についての意見

- (1) ひきこもり 8050 問題理解促進セミナーの開催
 - ・ ひきこもり専門の支援をされる中川さんの話を興味深くお聞きした。参加者は 85 名にとどまっているが、本当に情報を必要とされている方に広く役に立つ内容であったと思う。一方、県民のための理解促進セミナーなので、県内の支援機関の活動や窓口の案内などを盛り込んでもらえるとより良かったと思う。
 - ・ 平日昼間の実施であり、平日夜にオンラインと対面のハイブリッドで実施するなど、広く県民の方にセミナーに参加してもらえるような実施方法が求められると思う。
 - ・ 過去 3 回開催した「ひきこもり 8050 問題理解促進セミナー」だが、目標値 150 人のところ、参加者数は 85 名にとどまっている。登壇者の知名度も大切だが、それだけに頼るのではなく、本当にひきこもりや 8050 問題に関心を寄せ、情報を必要とされている県民の方に来ていただけるよう、広報の期間や方法の検討が必要だと思う。

- (2) SNS を活用したワンストップ相談体制の整備
 - ・ 友だち登録者数は、150 名から 223 名と 73 名増。昨年度の 55 名増から 18 名上回っており、90 エピソードに対応されたとのこと（昨年相談件数 276 件でいくつのエピソードに対応されたか数値は明記されていないが、1 エピソード平均約 6.2 件の対応がなされている）であり、相談方法として認知され、利用が進んでいることがわかる。市町村ひきこもり支援体制整備サポート事業の報告でもあったが、「専門家からの助言」が求められており、事例の共有など支援者に対するサポートにも活かしていってほしい。
 - ・ 推計値ではあるが、相談実績が予想を超えており、相談の機会（方法）として認知されてきていると思う。
 - ・ 労働相談においてもマタハラ、解雇・雇止め、年次有給休暇など毎回テーマを設定しているが、仕事で悩む方々からの相談を幅広くお聞きできるように心がけている。最近はハラスメントについての相談が増えてきているが、自治体においても期間職員、任期付き職員を言われる方々からの声をお聞きすることもある。
 - ・ 就職氷河期世代の方々から寄せられた声をまたこのプラットフォーム会議でも報告していきたい。

3 各事業への評価総括

- (1) 宮崎県就職氷河期世代就労支援事業
 - ・ KPI は達成しており評価できる。ただし、一部周知に課題があり、改善が必要。

- (2) ひきこもり支援・相談体制強化事業
 - ・ KPI を一部達成していないものの、成果があった点は評価する。開催日時や周知に課題があり、改善が必要。

- (3) 事業全般・その他
 - ・ イベントはぜひ土日に開催してほしい。
 - ・ KPI の設定自体に疑問がある場合もあるが、達成すべき核の部分については頑張って達成いただきたい。
 - ・ (イオンで相談会を開催した経験上、) 賑やかな場所が好きな方にとっては非常に良い開催場所である一方、そういう場所に行きづらい方にとっては少しハードルが高いと感じた。
 - ・ 大きなイベントでなくとも、駐車場や場所が分かりやすい、あまり人目につかないような会場で開催する方法も良いのではないか。
 - ・ どの企業も、人手不足であるという声を聞いている。
 - ・ 案内を関係各所に流しているが、追跡していないのでどこまで協力ができているか不安もある。
 - ・ 全国的な傾向として、新卒者は大企業に目を向けている。
 - ・ 県内中小企業では、新卒採用を諦めて中途採用を行うケースも多い。
 - ・ KPI を求めすぎるがあまり、本来であれば継続して支援すべき方を追えていない可能性がある。
 - ・ サポステ、ヤング JOB、ハローワークが様々な事業を展開し、個人情報把握をしているが、連携ができない。県においても部局をまたいで広く支援していくことでより効果が現れるのではないか。
 - ・ イベントにおける参加者数・集客の難しさを痛感している。
 - ・ 回覧板、HP、SNS を活用することで、少しでも対象者の目につくように周知を行っている。
 - ・ 一人ひとりに寄り添った支援が非常に大事になっている。
 - ・ 対象者に寄り添った、安心して参加できるイベントをぜひご検討いただきたい。
 - ・ 事業が終了しても支援は続くため、この PF 会議が各機関や地域の特色・強みを忘れ合わないような場となってほしい。